

国総研資料第 1333 号「潮位偏差に対する再現確率 統計量の空間分布推定のための極値統計解析手法」 を刊行します

潮位偏差に対する再現確率統計量の空間分布について、既往の一般的手法では不連続となるといった問題があります。そこで、本研究では、潮位偏差に対する再現確率統計量の空間分布を精度良く推定するための極値統計解析手法を提案しました。また、三大湾を対象とした高潮推算結果を対象に、一般的手法と比較することで、本研究の手法の有効性を確認いたしました。本研究の成果により、再現期間に応じた潮位偏差の空間分布の評価の信頼性を向上させることができます。

<目次>

1. まえがき
2. 極値統計解析手法
3. 使用データ
4. 一般的手法による極値統計解析結果
5. 本研究の手法による極値統計解析結果
6. 一般的手法と本研究の手法との比較
7. まとめ

付録A：代表地点における分布関数の当てはめ結果（合田法）

付録B：代表地点における再現確率統計量の 95%信頼区間の推定結果（合田法）

付録C：代表地点における分布関数の当てはめ結果（本研究の手法）

付録D：代表地点における再現確率統計量の 95%信頼区間の推定結果（本研究の手法）

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL：<https://www.ysk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/ks1333.pdf>

（問い合わせ先）

国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 港湾・沿岸防災研究室
室長 本多 和彦（内線：3220）

TEL：046-844-5019 E-mail：ysk.nil-46pr@gxb.mlit.go.jp